

海蔵あくら

四日市市立海蔵小学校
校長室 だより
令和4年5月11日
第3号
文責 校長 柳川 洋史

5月 TOPIX 5年生「体積の求め方のくふう」

直方体、立方体の体積の求め方を前時までに学んだ5年生。
発展問題を考えあいました。

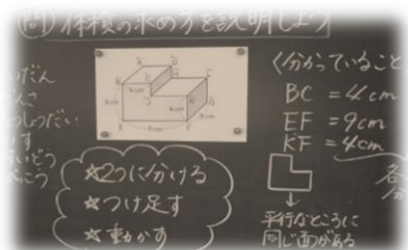
「2つに区切り、それぞれを求めてから合計すればいいのでは」

「区切り方も、〇〇さんとは違うところで区切ってみました」

「大きい直方体だと考えて、そこから見えていないところを引けばいいのでは」等々、いろいろなアイデアが出されました。

考え方を交流し違う発想に触れ、「なるほど～」と学びあう姿が。

正解にたどり着くまでに、論理的に考え、相手にわかりやすく説明する力が育まれていきます。



2年生「ソフトボール投げ練習」

海蔵小学校では体育で「成長の記録として行い、自己の体力等に関心をもつ」「記録をもとに、体力の向上に生かす」をねらいとし、平成27年度から全学年8種目の体力テストを1学期に実施しています。その一つ「ソフトボール投げ」に向けて2年生が練習を行いました。

因みに2020年度のソフトボール投げ2年生の全国平均値は、女子 7.67m、男子 11.79mでした。平均と比べるのも一つの目安ですが、一番は去年の自分との比較です。成長過程や身体能力には当然個人差がありますから、個人個人がどれだけ身体が成長しているのか確かめることがねらいに迫ることになります。

投げる動作に不慣れの児童もいるので、軽量の玉入れ用の紅白玉や、ジャベボールという投てき用教具を使っの練習です。

白線ぎりぎりで投げるために「助走は2mぐらいかな?」、右投げだから「最後の足は右足かな?左足かな?」...試行錯誤しながら投げることを楽しんだ2年生でした。本番での記録も楽しみです。



4年生「天気と1日の気温」

「晴れの日の昼間は、あたたかく感じられます。くもりや雨の日はどうでしょうか。天気と1日の変化について、

考えてみましょう。」

そこで「晴れ」と「曇りや雨」の日との違いを表にして、予想を書き込むことにしました。気温が高くなること、低くなることは、多くの子が予想して書き込みされていました。

しかし、自由な発想ができる4年生。そこから派生する現象を考えていました。

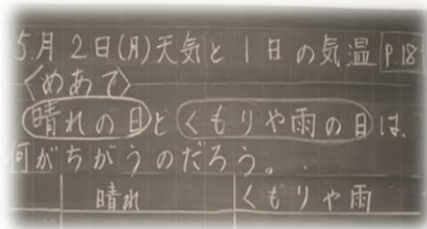
「服装が変わる。半袖と長袖…」

「雲の色が、晴れだと白っぽいけど、曇りや雨だと黒っぽいよ…」

「虫の動き方も違っていると思う」

「動物もそうじゃないかな…」

天気によって、いろいろなものに影響が出ていることを予想しています。これから調べていくことが楽しみです。



勉学に「励む」？それとも「いそしむ」？

海蔵小で学ぶ子どもたち。体育や算数で上記のように学ぶ姿があります。その姿を表現するのにふさわしいのは、「勉学に励む」？「勉学にいそしむ」？

結論としては、言葉上どちらも正しい使い方です。しかし、国語学者の金田一春彦博士は、いかにも日本語らしい言葉として「いそしむ」をあげています。その著書『日本語』から引用します。



『…和英辞書を引くと「いそしむ」はイコール「励む」で endeavor と書いてあるが、筆者にいわせると、「励む」と「いそしむ」とは違う。「励む」はがむしゃらに働くことであるが、「いそしむ」は働きながら働くことに喜びを見出しているニュアンスがある。日本人は働くことを愛する。だからこそ「いそしむ」というような言葉ができるわけで、いかにも日本語らしい単語だと思う…』 新版『日本語』金田一春彦著 岩波書店

試みに和英辞典『新和英中辞典』(研究社)を開いてみると、「isoshimu(いそしむ) ➡ hagemu(はげむ)」とあり、「励む」をみるように指示されています。

「いそしむ」に相当する英語の単語はありません。用例として、「仕事にいそしむ ➡ work diligently」「学業に励む ➡ work hard at ones lesson」があがっています。インターネット検索でも、ほぼ同様でした。

「勉学にいそしむ」といえば、「自ら進んで喜びを感じながら勉強する」ということです。「家業にいそしむ」といえば、「せっせと家業に精励(せいいい)する」ということです。嫌々ながらではなく、いそいそ(嬉しさに心が浮き立つ様子)と勉強したり働いたりする姿が浮かびます。

このような意味合いがある「いそしむ」という言葉は、勤勉な日本の風土から生まれた誇り得る言葉です。海蔵小の子どもたちが、「勉学にいそしむ」ことができるよう、教職員も教育活動にいそしんでいきます。



海蔵小学校ホームページ

www.yokkaichi.ed.jp/~kaizo/cms2/htdocs

「海蔵小学校」で検索してください。

スマートフォンでも見ることができます。

“学校のような”のページで、ほぼ毎日、子ども達の様子をお伝えしています。ぜひご覧ください。